

17
16
4

37

私は過去の总体の銅像を鑑賞
 未遠式の時計の複製
 善因善果 悪因悪果
 人と物との出会いを重ねて
 遠い時間の流れが降り積もり
 私はいまここに在る
 かつて私は詩集『時間』を刊行し
 奔放に詩で時間論を表現した
 それから三十年を経て
 この時間論を即物的に収斂し
 具体的にへ時計シリーズを展開する――
 二〇〇二年十月 近江神宮時計博物館で
 中大兄皇子の漏刻へ水時計を偲び
 二〇〇三年一月 台北・故宫博物院で
 清の交泰殿の多壺式漏壺（模型）に
 漏刻の原点を追い
 二〇〇四年六月 北京・故宫博物院を訪れ

9/9